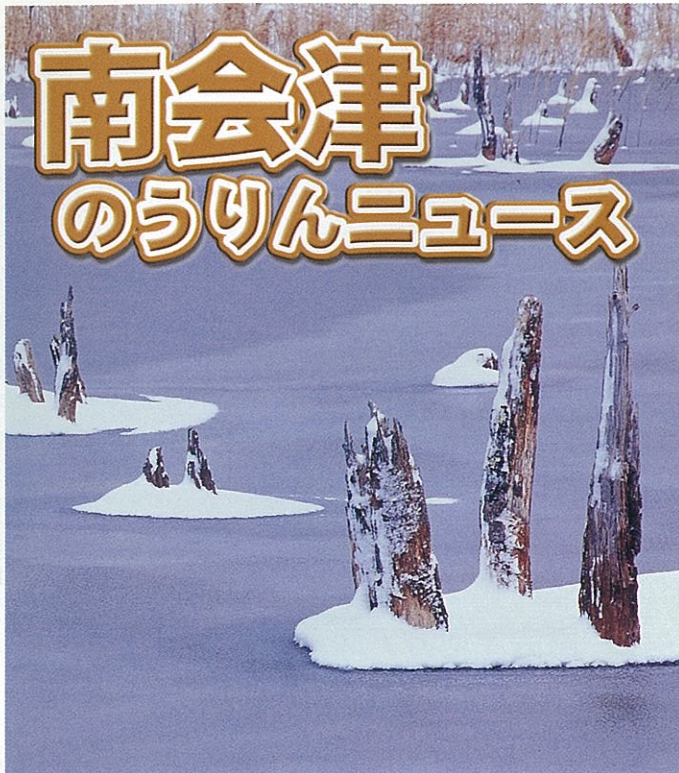


# 南会津 のうりんニュース



今月の写真：「観音沼の冬景色」(下郷町)

観音沼とその周辺の自然公園は四季折々の姿を見せます。春の新緑から秋の紅葉のシーズンは、多くのカメラマンや観光客が訪れますが、このようにひっそりと静まり返った冬も、なかなかいいものです。

今月の内容：

- 今月のトピックス
  - ・ 食品産業と農業との情報交換会を開催
  - ・ 「直売所成功の秘訣」セミナー開催 ほか
- ひとくち普及情報
  - ペレットストーブ燃焼中！
- 農林事務所からお知らせ
  - 2月後半～3月開催予定のイベントのご案内
- 今月のコラム
  - 沈丁花
- 研修会・講習会等お知らせ

平成17年2月14日発行 福島県南会津農林事務所

## 今月のトピックス

### 食品産業と農業との 情報交換会を開催



第1回南会津地方食品産業・農業ニーズマッチング情報交換会を、1月25日(火)に田島町の御蔵入交流館で開催しました。

食品の原材料を生産する農業サイドと農産物を加工・調理・提供する食品産業サイドとが相互理解のもと連携し、地元農産物の供給と利用を促進することを目的としており、昨年度は2回開催され、今回で3回目の情報交換会となりました。

当日は、食品産業と農業双方の情報・ニーズをマッチングさせるための相談や調整役をお願いしました南会津調理師会会長の湯田宏氏(田島町)をはじめ、旅館・民宿業者、量販店、食品加工業者、消費者代表、農業者、関係機関等約30名の出席をいただきました。

昨年度、今年度と食品産業者と農業者を対象に実施

したアンケート調査結果を基に、それぞれの立場から活発な意見交換が行われました。

食品産業者の方から「お客様がほとんど都会の人なので、田島の料理を提供したいと思っても、地元の素材が欲しい時になく、また値段が高い。(旅館経営者)」「他県では“会津産”が非常に注目されている。当社でも是非、原材料に“会津産”の使用を考えているので、生産者の方も頑張ってほしい。(食品加工業者)」「生産者からの情報の発信がない。もっと消費者に情報提供してほしい。(消費者)」等の意見が出されました。

一方、農業者の方からは、「安心・安全な農産物作り、自然を大事にした農業をしていきたい。」「消費者、食品産業者の方が、いつ、何を、どのくらい(量)ほしいのか、この情報交換会でわかったので、農業者につないでいきたい。(JA女性部事務局)」等の意見が出されました。

また、量販店の方からは、「今後、“地場コーナー”の設置について取り組む考えがある。」との意見が出され、農業者、消費者にとって、たいへんうれしい発言をいただきました。

なお、第2回の情報交換会を3月17日(木)に予定していますので、ぜひ、双方のニーズがマッチングするように話し合いを進めていきたいと考えております。

(農業振興部)

(※詳しくは、3ページの「農林事務所からお知らせ」のコーナーをご覧ください。)

### 「直売所成功の秘訣」セミナー開催

農業者が地元で生産れた農産物の直売活動により、農家所得の向上や地域活性化を図ろうと各地域で取り組んでおりますが、その成功の秘訣を学ぼうと、1月19日「農産物直売所活性化セミナー」を下郷ふれ(2ページに続く)



(1ページから続く)

あいセンターで開催しました。

現在、直売活動を行っている方やこれから取り組もうとしている方、また、下郷町認定農業者等多くの方が参加されました。宮城県加美町の農事組合法人やくらい土産（どさん）センターさんちゃん会の加藤重子会長を迎え、「農産物直売所を活かした農業所得の向上と地域活性化」と題して、さんちゃん会の事例をふまえて直売所運営等について講演されました。さんちゃん会は、じいちゃん、ばあちゃん、かあちゃん、の三ちゃんが太陽（サン）のように輝くことから命名したそうです。直売所は旬の野菜が一番で「これだけは」という物が必要である、冬期間は加工品が販売強化になる、売り上げを向上するには手間がかかるので家族の応援が大切である等、直売所成功のポイントを話されました。意見交換では、参加者から自分たちの直売所の問題点や加工品の作り方等活発な意見がだされ、加藤会長からアドバイスをいただき、お互いに直売活動を実践しているのて内容を理解された有意義なセミナーでした。（農業普及部）

### 南郷トマトにおける環境にやさしい農業検討会及びトマト講座の開催



南会津郡のトマト生産者で組織する「南郷トマト生産組合（以下 生産組合）」では、組合員全員がエコファーマーの認定を受け、環境にやさしい農業に取り組んでいます。環境にやさしい農業に取り組んで2年目となりますが、その活動の成果を検討する「南郷トマトにおける環境にやさしい農業検討会」を生産組合役員、町村、JA、県専門技術員、南会津農林事務所担当者との出席のもと、平成17年1月25日に南郷開発総合センターで開催しました。

検討会では、堆肥、化学農薬、化学肥料の使用について、目標への達成度合いや、達成できなかった理由、来年度の改善方策について活発な意見交換が行われました。

その後、南郷トマト講座を開催し、全農福島農業技術センター 武田敏昭氏から「土壌分析結果の見方について」、県専門技術グループ三浦吉則専門技術員が「土づくりについて～良質な堆肥づくりとその効能」について講演いただきました。どちらの講演も環境にやさしい農業には欠かせない「土づくり」に関する内容であったため、出席した56名のトマト生産者も真剣に聞き入っていました。

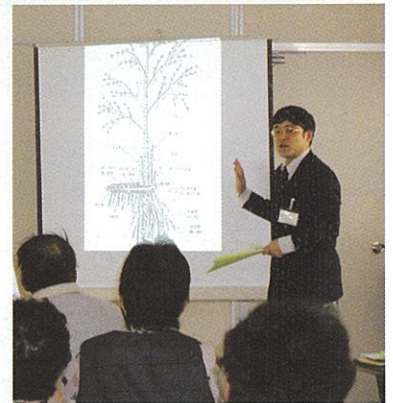


（農業普及部）

### 南会津地方アスパラガス講座を開催

南会津農林事務所では、これまでも南会津地方のアスパラガスの振興のためにセミナーを開催してきました。

第1回（平成16年2月3日開催）では新しい品種や連作障害回避技術などの課題について検討を行い、第2回（平成16年7月9日開催）はこれらの課題について現地で講習会を行ないました。



さて、第3回の今回は1月21日JA会津みなみの会議室で栽培の基礎と優良事例の発表検討を行い、10aあたり収量が1.5tという好成績を上げている田島町の原田義一さんや、改植を継続に行っている室井一男さんから、スライドを用いて事例発表を行って頂きました。

当日は田島町長のほか参加者75名と多くの参加を頂き、関係者・団体・生産者が一丸となって再び売上3億円を目指すべく熱気あふれる講座となりました。

（農業普及部）



ひとくち普及情報



## ペレットストーブ燃焼中！

(森林林業部)

木質ペレットという燃料をご存じですか。未利用の間伐材や製材工場の端材などの木材を粉碎し、高温高压で圧縮成型した「木質固形燃料」で、直径6mm、長さ20～40mm程度の円筒形をしています。

木材は燃焼することにより地球温暖化の原因となる二酸化炭素を放出しますが、石油等の化石燃料を燃やすのと違い、森林が生長するときに再び二酸化炭素を吸収・固定するため、トータル的に二酸化炭



(←) 左からブラックペレット、グレーペレット、ホワイトペレットといえます。使用する木の部位によって色が変わります。

素を増加させることがなく、また、再生産が可能なエネルギー資源として注目されています。

この木質ペレットを燃料とするストーブの特徴は、薪ストーブのような炎と香りはそのまま、自動着火、温度調整も可能な構造となっており、石油ファンヒーターのような使い勝手ができる優れたものです。

県では、この環境に優しい木質ペレットの普及を図るため、ストーブのモニターを募集し、南会津管内でも以下の施設で稼働しておりますので、ぜひお近くの施設でその暖かさを体感してみてください。

### ■南会津郡内でペレットストーブを置いてある場所

田島町	会津田島ふれあいステーションプラザ 田島町農村環境改善センター 御蔵入の里会津山村道場
舘岩村	舘岩村役場 舘岩村老人福祉センター 舘岩村森林組合
伊南村	伊南村保養所古町温泉赤岩荘 伊南村保育所
只見町	只見地区センター 明和地区センター 深沢温泉むら湯

### 農林事務所からお知らせ

## 2月後半～3月開催予定のイベントのご案内

(地域農林企画室、農業振興部、農業普及部)

① 2月22日(火) 10:00～16:00  
舘岩村村民会館(舘岩村)

### ふるさと南会津『地域の宝』再発見フォーラム

「景観」、「食」、「人」の3つのキーワードで、南会津の「宝」を再発見し、地域づくりに活かしてみましよう。地域で様々な活動に取り組む方々の成果発表会も行います。

お問合せ先：  
地域農林企画室(0241-62-5866)、南会津地方振興局地域づくり・商工労政グループ(0241-62-5207)

② 3月9日(水) 10:00～15:00  
下郷ふれあいセンター(下郷町)

### アグリビジネス実践セミナー&グリーン・ツーリズムインストラクター養成研修会

直売所やグリーン・ツーリズムにはつきものの、接客方法や苦情への対応方法を学習するとともに、地域や商品に売り込むには欠かせない「キャッチコピー」づくりの研修をします。

お問合せ先：地域農林企画室(0241-62-5866)、農業普及部(0241-62-5264)

③ 3月17日(木) 13:00～15:30  
御蔵入交流館(田島町)

### 第2回南会津地方食品産業・農業ニーズマッチング情報交換会

会津天寶醸造(株)の代表取締役会長 満田政巨氏による講演会と、食品産業・農業の情報交換会を行います。

お問合せ先：農業振興部(0241-62-5253)

## 沈丁花



今年の冬は、雪の降ふりだしが遅かったぶん、いっぺんにどっさりと降りました。我家（福島）でも、雪囲いをしてない沈丁花に重い雪が積もり、枝が折れてしまいました。この沈丁花は家を建てたときの記念に、狭い敷地のなか3ヶ所に分け植えたものです。あれから13年が過ぎ3本の木の生長には驚くほどの差が生じました。

南側に植えたものはあまり伸びず、夏の強い日差で葉がチリチリに焼け、枯れないのが不思議なくらいです。北側で全く陽の当たらないものは、ひよろひよろに伸び花はあまり咲きません。それに比べ東側に植えたものは半日陰で、沈丁花にとっていい環境であるため、樹型も良く花をいっぱいつけ、春には沈丁花独特の甘い香りを庭中漂わせてくれます。花にとって環境（日照）がこれほど大切なものである、ということをおぼろげに感じさせてくれます。

人間も環境によって、大きく変わってしまうのでしょうか。その人に合った環境に出会えば、能力が最大限に発揮されることになり、反対に合わないとい

能力が埋もれてしまうのでしょうか？

人間の場合、環境を決める要素が多く、人によっても違うので、なにが一番いい環境なのか見極めることは難しいことだと思います。そのうえ、どんな環境が一番合っているかなんて本人だって分からないし、自分ではどうしようもないこともあります。要素が多いという事は、改善できる部分も多いのではないかと思います。少し環境を変えただけでも、結果が大きく変わる事が考えられます。ないものねだりするよりも、今おかれている環境が、少しでも良くなるように色々工夫努力することが大切なのかなと、雪に押しつぶされ、折れてしまった沈丁花の枝をみながら、ふとそんな事を考えていた日曜日の午後でした。

（農村整備部副部長 菅野正男）

### ～研修会・講習会等お知らせ～



内 容	月 日	場 所
-----	-----	-----

①ミニバックハウ操作基本	3月1日(火)～2日(水)	農業短期大学校（矢吹町）
--------------	---------------	--------------

※お申込み・お問合せ先：南会津農林事務所 地域農林企画室 0241-62-5866 / 農業普及部 0241-62-5262



お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

電話 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.hukushima.jp

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/minamiaizu/>



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

**R100**

PRINTED WITH SOY INK™

この広報紙は古紙配合率100%再生紙とSOY（大豆油）インキを使用しています。